



このニュースレターでは、文部科学省科学技術振興調整費「発展型女性研究者支援名大モデル」の取り組み内容を紹介いたします。本事業は、女性研究者がその能力を十分に発揮できるような研究環境の整備や意識改革のための取組を支援するものです。実現に向けて、①多様な勤務形態に対応できる職場環境の整備②発展型ポジティブ・アクションプロジェクトの展開③ITを用いた仕事と子育ての両立支援システムの構築④若手研究者の育成支援⑤女性研究者の交流支援 の5つを柱として実施しています。

■支援1：多様な勤務形態に対応できる職場環境・制度の整備

I. 名古屋大学東山キャンパス内に学童保育施設の新規開設が決まりました！

育児と仕事の両立には「小1の壁」と呼ばれる大きな障害があります。これを乗り越えやすくするために、名古屋大学東山地区に学童保育施設が来年度開設されることになりました。学内における学童保育専用施設の設置は、全国の大学の中で初の試みとなります。こすもす保育園と同様に、他大学のモデルとなれるよう様々な取り組みを行っていく予定です。

特長 (*検討段階ですので、内容が変更になることもあります。詳しくはHPをご覧ください。)

(1) 預かりの柔軟性

- *週1～週5までのレギュラー利用
- *夏休み等の長期休みのみの利用
- *1日単位のスポット利用

(2) 延長時間の拡大(別料金)

- *基本19時まで、さらに21時までの延長に対応
- *夕食、入浴も可能

(3) 様々なプログラム活動

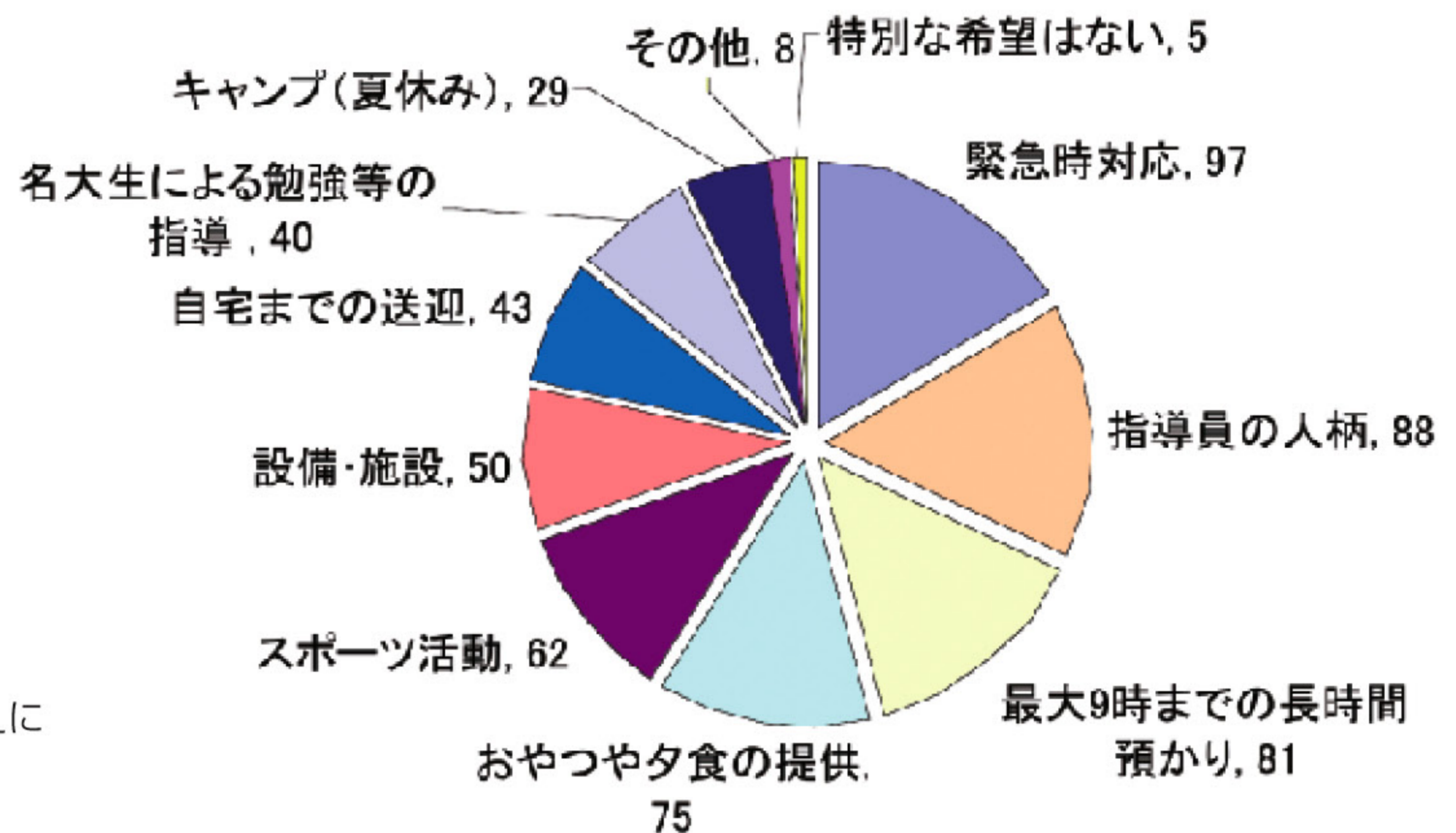
- *大学内という利点を生かしたプログラムの実施

(4) 大学までの送迎

- *近隣の送迎対象小学校の場合は、放課後に車でお迎えに行きます。

学童保育に希望する支援内容

(名古屋大学における育児・介護支援に関するアンケート結果より)



2-3月に学童保育の内容について意見交換会を開催する予定です。なお、11月に実施しました利用調査にご協力いただいた方には、日時が決定次第メールにてご連絡いたします。またそのほかの方で興味のある方は、意見交換会の日時などをメールでお知らせいたしますので、ikuji@post.jimu.nagoya-u.ac.jpまで、お名前・所属を明記の上、別途ご連絡ください。詳しくは当プロジェクトHPで随時お知らせしますのでご覧ください。

II. 名古屋大学鶴舞キャンパス内に保育所の新規開設が決まりました！

鶴舞地区に現在建築中の看護師宿舎1Fに保育所が新設されます。7月開所予定です。定員40名です。3月頃に入所児の募集を開始する予定です。詳しくは当プロジェクトHPに掲載する予定です。ご覧ください。

III. 名古屋大学東山キャンパス内学内保育所「こすもす保育園」の増築が決まりました！

「こすもす保育園」は開設以来ご好評を得ておりますが、本年度は保育定員数上限に達したため、多くの方の入園をお断りしています。そこで、「こすもす保育園」の保育定員数倍増(常時60名)を目指し、増築する事が決定しました。建物完成の時期の都合により、来年度4月からの常時保育の園児募集は行えませんが、秋ごろの園児受け入れを目指しております。詳しくは当プロジェクトHPに掲載する予定です。ご覧ください。

IV. 保育園送迎のための車両入構

名古屋大学における育児・介護支援に関するアンケートより、就学・就業と育児の両立における問題や困難な点の上位として、子供の送迎があることがわかりました。そこで、本年度6月より、東山地区では職場から2km以内に居住している場合でも、保育園送迎に関する理由についてのみ車両入構許可証を発行しております。なお、入構許可証の発行枚数、構内の駐車状況等の結果をふまえて、毎年次年度以降の対応が検討される予定です。



保育園送迎許可のシンボルマーク

名古屋大学における育児・介護に関するアンケート結果報告(平成20年3月実施)

昨年度末に、名古屋大学で実施した育児・介護に関するアンケート結果によると、就学・就業との両立について問題や困難が非常にある・ややあると回答した方が、育児と介護ともに約80%と、非常に大きい割合を占めました(図1)。また、育児期間における問題・困難の最も多い回答としては、時間的制約であり、続いて子供の病気、子供の送迎でした(図2)。さらに、育児・介護の問題や困難についてどのような支援が効果的であるかについての回答では、両者において勤務形態の柔軟化や職場環境づくりが上位を占めていました(図3)。これらのアンケート結果をもとに、名古屋大学では様々な勤務制度の導入や支援の検討を開始しておりますが、同時に、職場内での育児や介護に対する意識の向上も重要な課題です。これらにつきましては、大学内でもセミナーなどを随時開催しておりますので、ぜひご参加ください。また、職場で話し合う機会を積極的に設けてみてください。

図1: 就学・就業との両立について問題や困難がありますか?

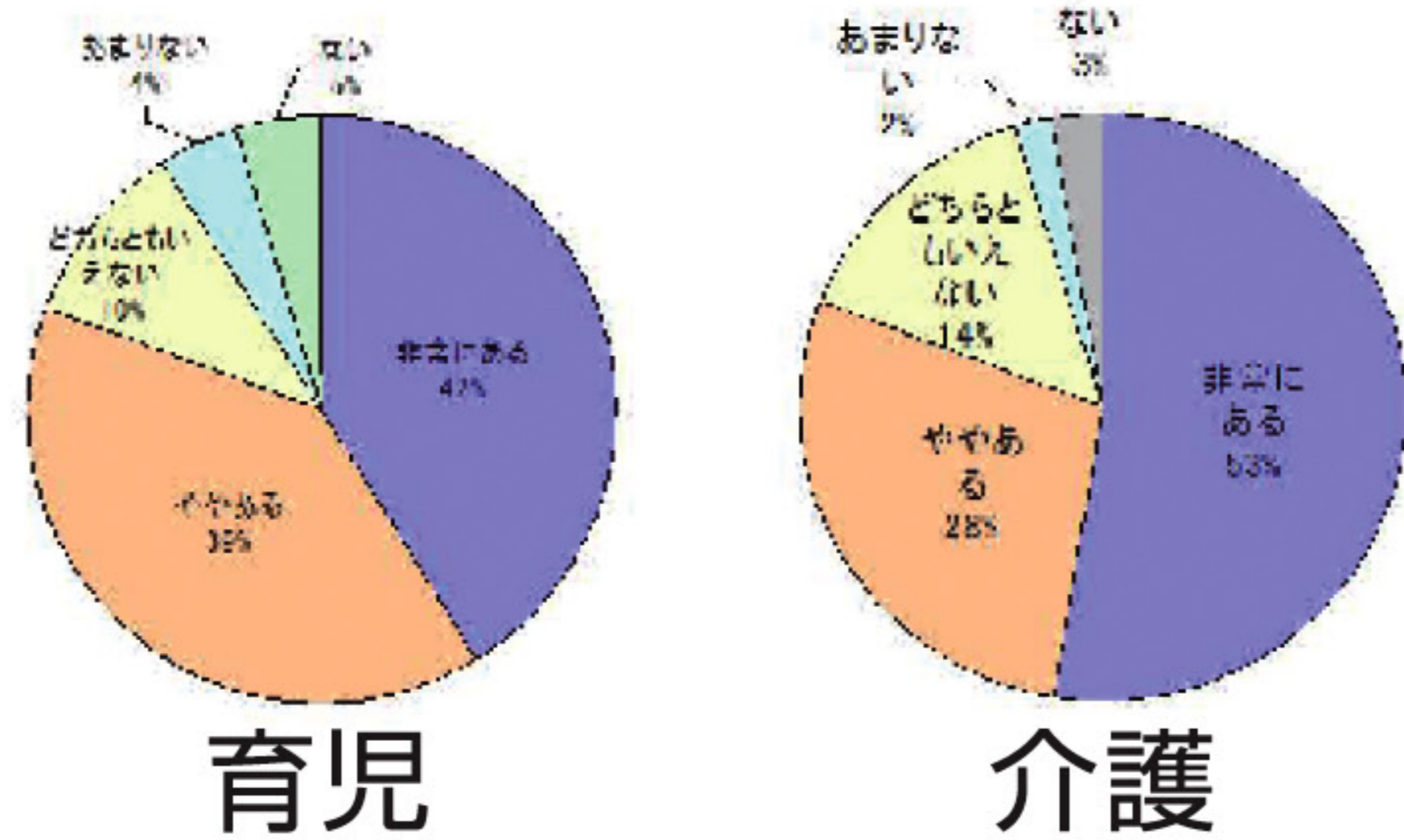


図2: 就学・就業と育児の両立における問題や困難な点

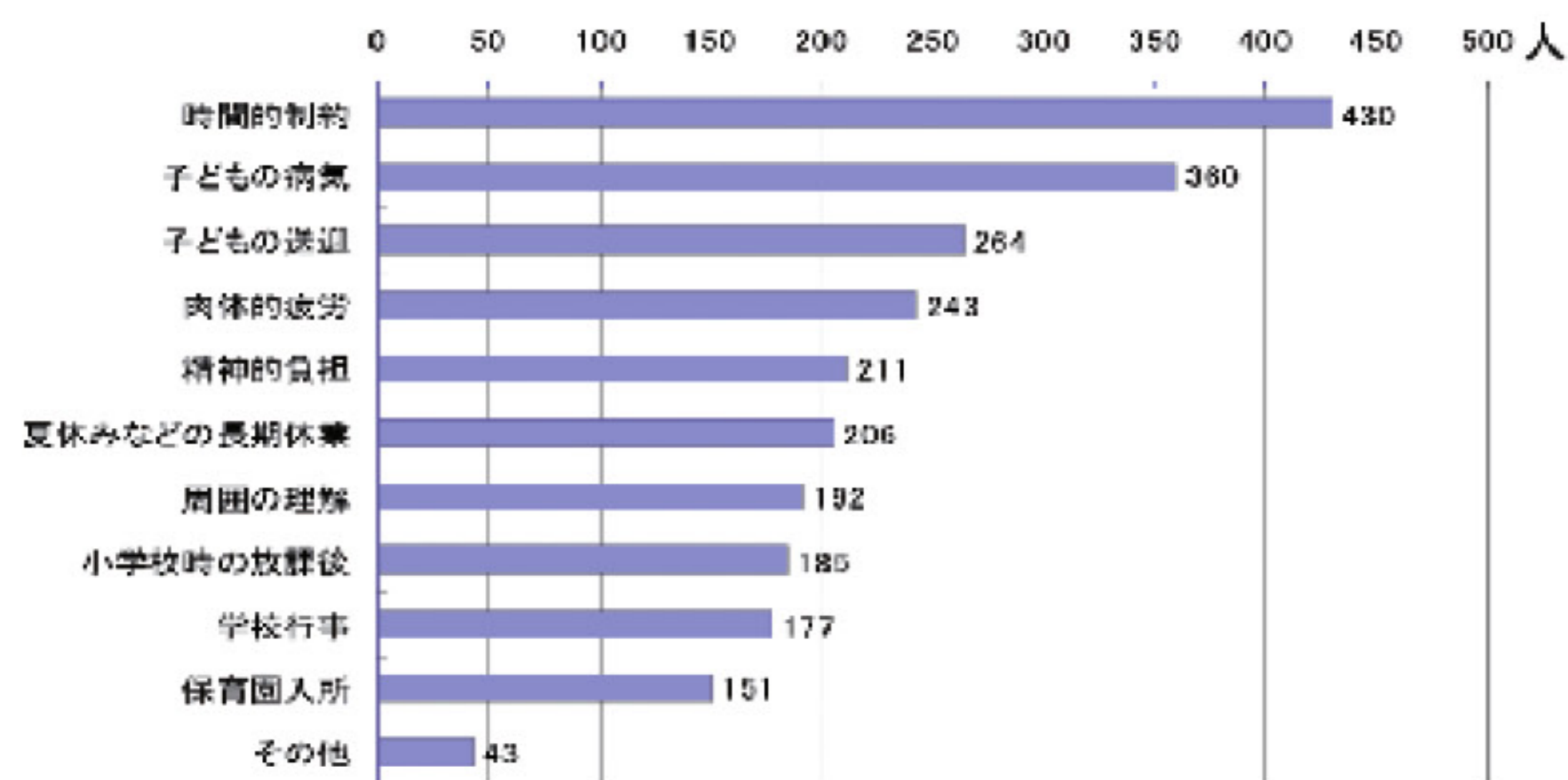
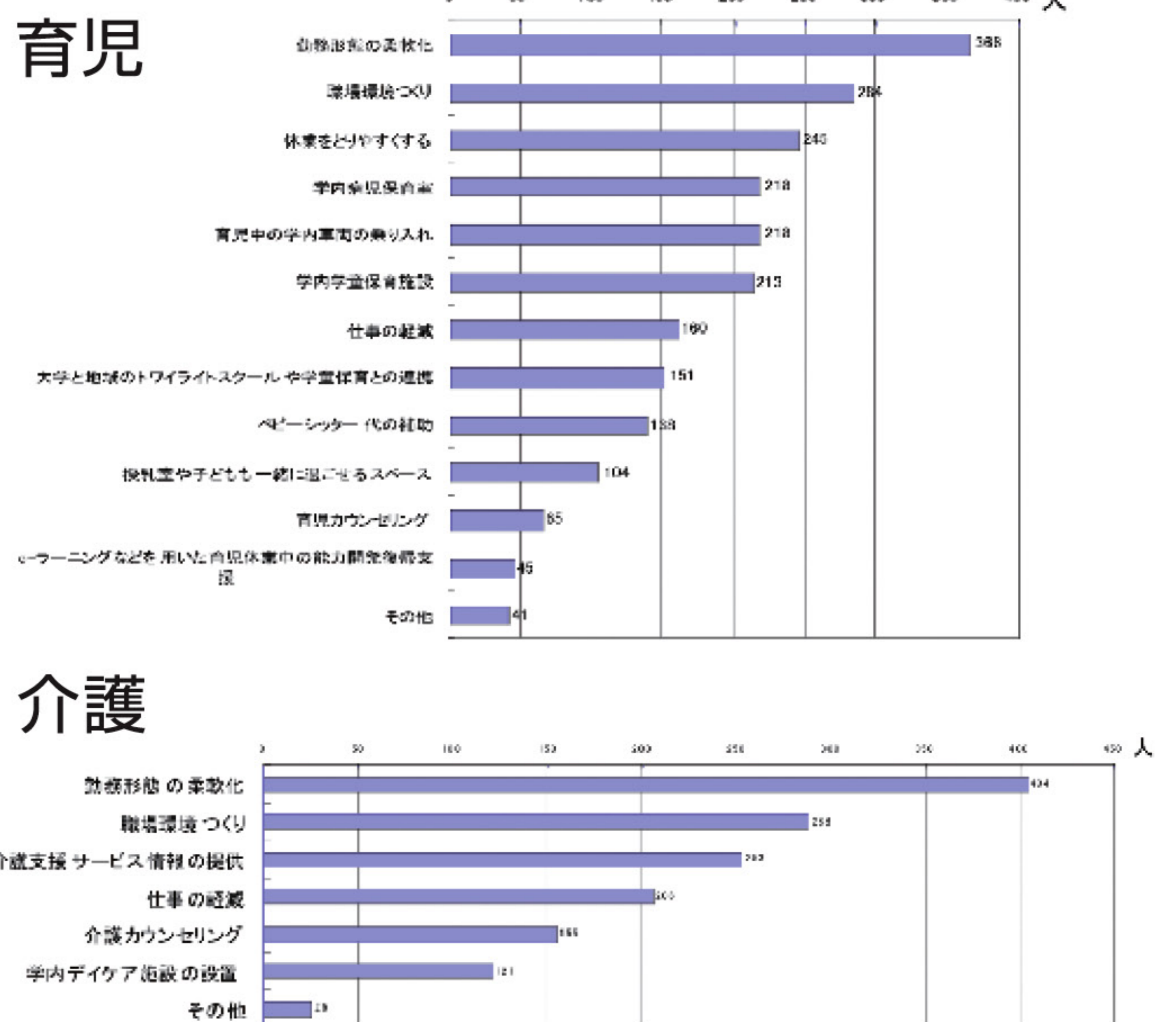


図3: 育児や介護との両立において期待する支援内容



*詳しい結果につきましては、2008年度の「名古屋大学における男女共同参画報告書」に掲載いたします。

男女共同参画ランチョンワークショップ開催(日本遺伝学会共催)

9月4日の日本遺伝学会第80回大会会期中に、「優れた科学の芽を皆でサポートするために～子育てと研究の両立をめざして～」と題したランチョンワークショップを開催しました。Prof. Armitage (Univ. of Oxford) によるイギリスの女性科学者の実情についての貴重なお話や、子育てと研究の両立について3人の若手研究者からの話題提供のあとパネルディスカッションが催されました。100名の参加者のもと、研究者自身がなすべきこと、社会で取組むこと、さらにはこれから研究者を目指す人々へのアドバイスを含め、男女共同参画のあり方について白熱した議論が展開されました。



ご存知でしたか?

育児との両立等で研究の時間が足りないとお悩みの方、これらを利用してみてはいかがでしょうか?

育児短時間勤務制度

子供が小学校就学までの1か月以上1年以下の期間、勤務時間を週20(2パターン)、24、25時間の4パターンから選択できる制度です。詳しくは名古屋大学規則集をご覧ください。名古屋大学職員の育児休業等に関する規程

URL:<http://www.nagoya-u.ac.jp/kisoku/document/frame/fr00002561.htm>

利用者の声

育児にけることにできる時間の増加が精神的余裕につながり、子どもにもゆったりとした気持ちで接することができるようになりました。仕事をあきらめず、何とか続けることもできて、とても満足しています。

■支援3: ITを用いた仕事と子育ての両立支援システムの構築 在宅勤務システム

現在男女共同参画室では、育児中、介護中の女性研究者の方を対象に大学内部限定のサイトへのアクセスを可能にするサービスを開始しました。ご希望の方は男女共同参画室にご相談ください。在宅勤務支援システムのクライアントソフトをインストールする時、パソコンのOS環境等により対応できないケースがありますので、御了承ください。

詳しくは、以下のURLをご覧ください。

URL:<http://www.nuws.provost.nagoya-u.ac.jp/jst/zaitaku/>

利用者の声

昨年10月末の出産のため、産前産後合わせて3か月半の休暇を取りました。この時期は、科研費等の研究助成の募集が多い時期ですが、大学にいないとその情報を手に入れることができません。出産・育児中の女性研究者の両立支援のための在宅勤務支援システムを利用して、研究助成募集、所属研究科の情報掲示板、図書館の文献等の大学内部限定の情報を見ることができて、すごく助かりました。そのおかげで、復帰後、研究を順調に再開することができました。

■支援2：発展型ポジティブ・アクションプロジェクトの展開

女性教員の採用にインセンティブを与えつつ、発展的に女性教員の採用を促進するために、女性研究者を多く採用・昇進した部局に対して全学措置人件費を一定期間配分し、部局内人事に利用してもらうシステムの構築を目指しています。

■支援4：若手研究者の育成支援

女子学生エンカレッジセミナーの開催

本事業では、将来女性研究者となる女子学生への支援として、女子大学生・大学院生対象の「女子学生エンカレッジセミナー」を開催しています。



総長からのご寄付



当日の様子

I. 理系女子学生エンカレッジ交流会 (2008.12.9)

あかりんご隊の一員の理学研究科の女子大学院生と工学部の女子大学生が中心になって企画を行い、理系女子のためのクリスマス会を行いました。当日は雨が降る悪天候の中、学部生、大学院生、ポスドクなど30名の参加がありました。総長を始め教員有志からの寄付によるお菓子・ドリンクと、持ち込みのクリスマスツリーなどで飾られた華やかな雰囲気の中、受付でのアンケート用紙の色別グループに分かれクイズに挑戦し、学年、部局を超えた交流が活発に行われました。また、会冒頭には名古屋大学産学官連携推進本部キャリアパス支援室ならびにセクシャル・ハラメント相談所の担当者から各事業についてご紹介頂きました。短い時間ながら多くの女子学生・若手女性研究者同士のネットワークづくりに役立ったと好評でした。



II. 日本人女性研究者としての先駆者のドキュメント映画上映会 (2008.6.6)

100年前の明治時代に、単身コロンビア大学に留学し、日本人女性初の心理学博士号を取得した原口鶴子という女性の一生をたどったドキュメント映画「心理学者 原口鶴子の青春—100年前のコロンビア大留学生が伝えたかったこと—」の上映と泉悦子監督のトークショーを野依記念物質科学研究館2階で行いました。139名の参加者が来場され、主人公の研究にける強い思いに一同鼓舞されました。主人公原口鶴子の娘婿で、名大出身コロンビア大学名誉教授の倉西正武先生も遠路はるばる駆けつけてくださり、会を盛り上げてくださいました。

女子中高生理系進学セミナーの開催

本事業では、女子中高生の理系への進学を推進するために女子中高生を対象とした「理系進学推進セミナー」を開催しています。



I. 女子中高生理系進学推進セミナー (2008.8.26)

今年度は、女子学生の比較的少ない工学と数学に焦点をあて、3名の女性教員、研究員による講演と、女子大学院生、女性教員によるトークセッションの二部構成で開催しました。参加者は51名でした。休憩時間には、あかりんご隊の工学部・工学研究科の学生が中心となって来場者と一緒に実験を行い、来場者に非常に好評でした。



II. 出張実験セミナー (2008.10.4・5)

「科学の祭典2008名古屋大会」に、「高分子の合成～人工イクラ・ナイロン繊維を作りましょ♪」と「科学マジックショー—ゆで卵はどこへいった?」の2ブース出展しました。あかりんご隊総勢17名で行いました。各ブースの来場者は両日合わせて約700人ずつと非常に多くの方に科学に親しんでいただきました。これをきっかけに名古屋大学の理系学部入学を目指すと伝えてくれた女子生徒もいました。また、あかりんご隊や名古屋大学の男女共同参画室、「発展型女性研究者支援名大モデル」プロジェクトについてのご質問も多く寄せられました。

■支援5：女性研究者の交流支援

女子研究者交流会の開催

本事業では、女性研究者間ネットワーク構築の一環として年に4回程度の意見交換昼食会を開催しています。



I. 鶴舞地区女性研究者交流会 (2008.7.24)

ふくい女性医師支援センターの専任コーディネーターの佐竹直子氏にお越しいただき、女性医師支援についての講演と交流会を開催しました。鶴舞地区では初めての開催で、参加者は少なかったのですが、最初から最後まで濱口医学系研究科長にご参加を頂き、今後の鶴舞地区の女性研究者支援についての貴重なご助言をいただきました。



II. 女性医師・医学科生交流会 (2008.11.15)

女性医師のキャリア継続を考えるワークショップと題し、女性医師の参加しやすい土曜日の午後に開催し、託児スペースも設置しました。当日は急患等により参加できなくなった方もいらっしゃいましたが、子育て期間中の女性医師を中心に32名の方に参加いただきました。KJ法を用いたワークショップを行い、女性医師のキャリア継続に必要な緊急度の高い支援について話し合いました。専門科や年齢を越え活発な交流が行われました。また、女子医学生にとっては、様々な専門科の方から率直なお話を聞ける貴重な機会になりました。この結果は、今後の鶴舞地区の男女共同参画推進に生かしていく予定です。



女性研究者交流昼食会を開催しています！

女性研究者交流昼食会を年に数回開催しています(不定期)。交流会開催情報は当プロジェクトHPにて随時お知らせしています。初めての方の参加も大歓迎です。お気軽にご参加ください。



子育て支援セミナーを開催します！

昨年度好評だった子育て支援セミナーを3月7日に開催します。今回は、「世界一受けたい授業(日テレ:3月7日もお出演予定)」などテレビでも活躍の内田麻理香先生(東大・工学部)をお招きして、子供たちと一緒にキッチン実験を行います。(対象:3-18歳、先着50名様)。また、名古屋大学の育児支援の情報発信をふくめた子育て交流会も行いますので、ぜひ参加登録してください。申込方法は当プロジェクトHPをご覧ください。



マインドマップ(R)講習会を開催します！

時間が足りないと思っている方。最近注目されている「お絵かきノート術(マインドマップ)」を学び、頭の中をすっきり整理して、仕事の効率化を図ってみませんか。ブザン公認マインドマップ講師をお呼びし、マインドマップ作成の講習会を3月5日(女性研究者限定)、9日(名古屋大学構成員限定)に開催します(無料)。一般では、3万円以上の講習料金がかかるそうなので、ぜひこの機会にどうぞ。申込方法は当プロジェクトHPをご覧ください。



女性研究者SNSに登録しませんか？

現在下記URLにて女性研究者ソーシャルネットワークサービスを展開中です。女性研究者の交流促進とキャリアアップや両立支援に有用な情報提供、ノウハウの交換・共有・蓄積を図ることを目的としています。様々な質問に答えるQ&Aコミュニティの他、女性研究者コミュニティ、ポスドク・任期付き教員コミュニティ、あかりんご隊のコミュニティ、こすもす保育園のコミュニティなどがあります。ぜひ登録して交流しませんか？

URL:<http://www.nuws.provost.nagoya-u.ac.jp/sns>



あかりんご隊に入りませんか？

あかりんご隊は、数少ない理系女子の交流の場をつくるために、理系女子学生によって誕生しました。現在、あかりんご隊では、学生エンカレッジセミナーなどの様々なイベントの企画運営や出張実験セミナーに



こすもす保育園でのあかりんご隊実験風景

一緒に協力してくれる理系女子を募集しています。また、今後のイベント情報がほしい方は、下記のE-mailアドレスまで登録希望のメールを送信してください。お待ちしております。

acalingo@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

発行者 名古屋大学男女共同参画室
「発展型女性研究者支援名大モデル」

発行責任者 東村博子

E-mail kyodo-sankaku@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

URL www.nuws.provost.nagoya-u.ac.jp/jst

本事業の活動報告の他、今後の予定についても随時発信していきますので是非ご覧ください。



男女共同参画室メンバー 東村博子(室長・生命農学研究科准教授)
谷本千雅子(国際言語文化研究科准教授)／吉田朋子(工学研究科准教授)
安藤妙子(工学研究科講師)／大河内美奈(工学研究科准教授)
加藤ジェーン(情報科学研究科准教授)／川瀬晃道(エコトピア科学研究所教授)
佐々木成江(男女共同参画室特任准教授 理学研究科担当教員)
荒井礼子(男女共同参画室特任助教)／伊藤由起(男女共同参画室特任助教)
周囲(男女共同参画室研究員)